

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

ひと

なみだの人、  
エレミヤ



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ  
改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

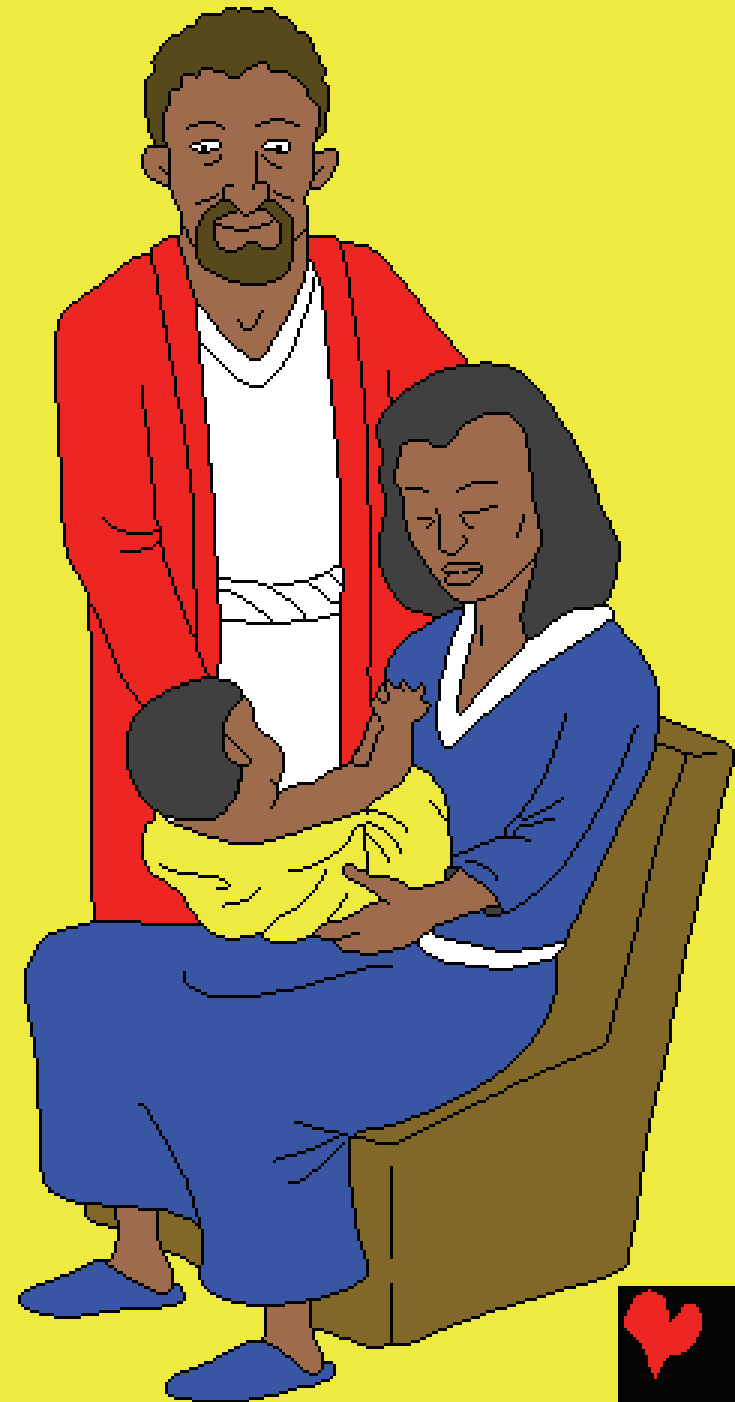
しゅつぱんしゃ  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2010 Bible for Children, Inc.

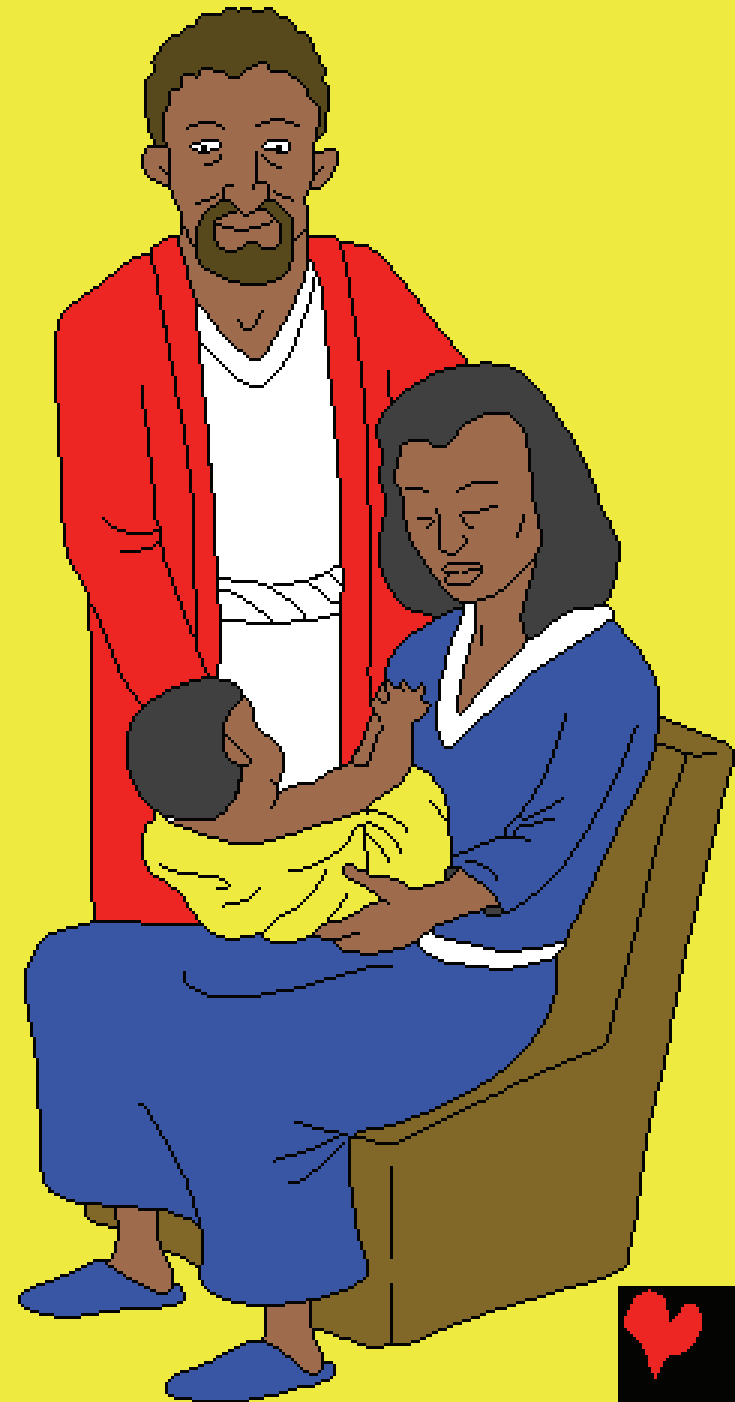
きよか たにん う かぎ はなし  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、  
また きよか  
又はプリントは、許可されています。

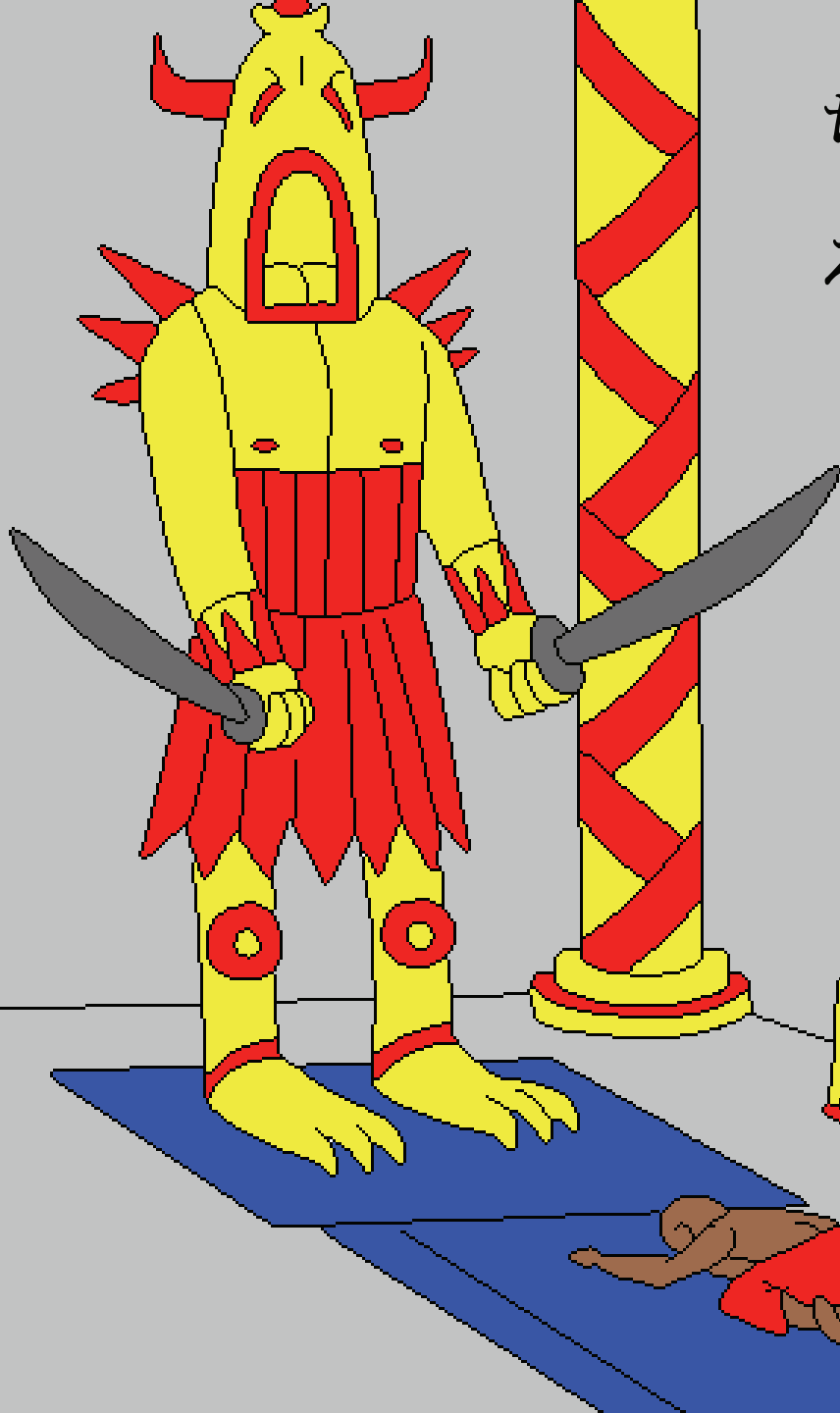


おうこく う  
エレミヤは、ユダの王国で生まれ  
か  
ました。かれの家ぞくはみんな、  
こころ かみ しん い  
心から神さまを信じて生きて  
とう  
いました。お父さんヒルキヤは、  
さいし か  
祭司です。かれの家ぞくは、  
とお  
エルサレムからそんなに遠くな  
まち  
い町アナソスというところに、  
す  
住んでいました。



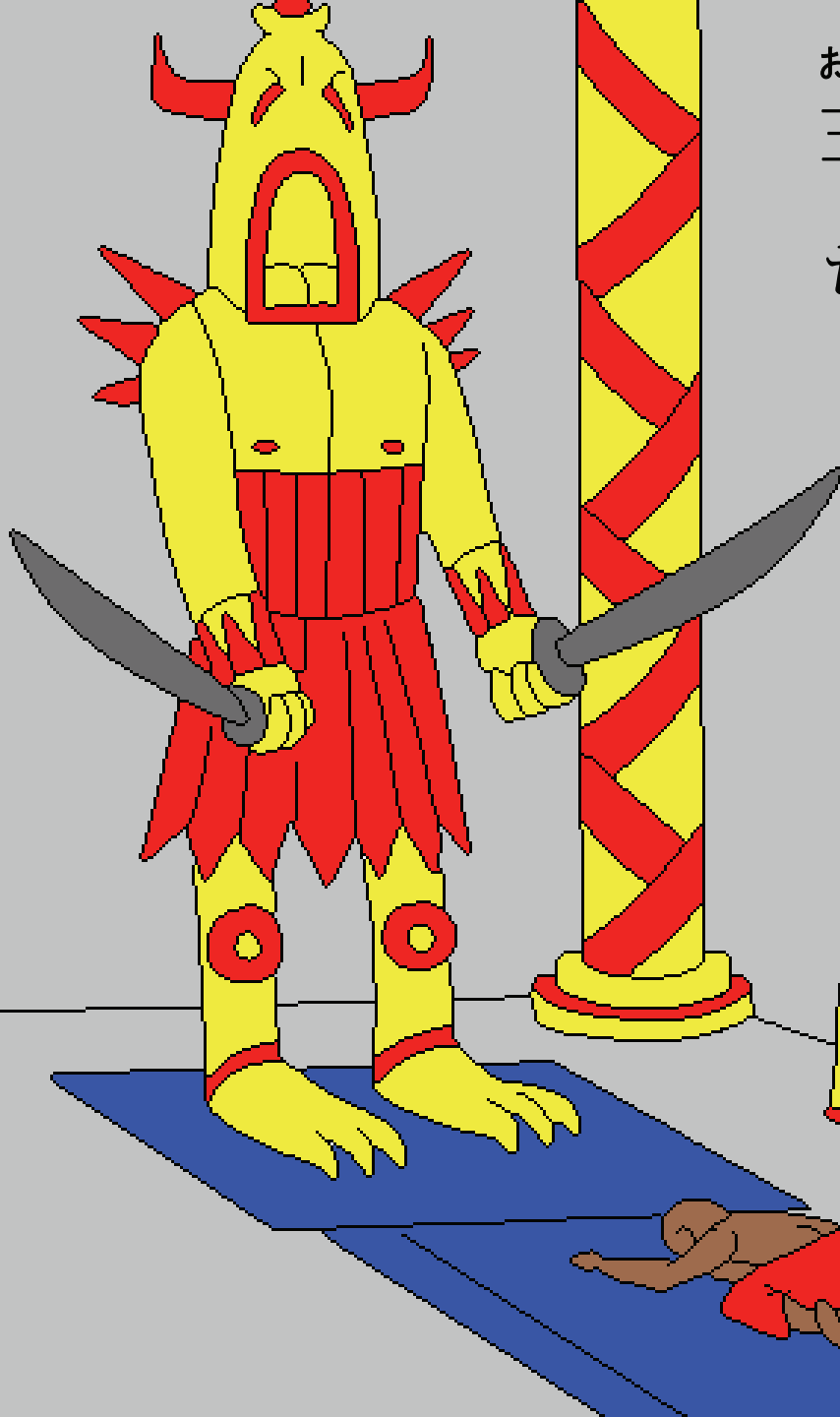
とう かあ  
エレミヤのお父さんとお母さん  
とう  
はね、かれもお父さんのように、  
さいし おも  
きっと祭司になるだろうと思  
っていたのです。ところが、  
かみ  
神さまはエレミヤにもっとほ  
けいかく  
かのことを、計画されてい  
たのですよ。





う  
ちょうどエレミヤが生まれたこ  
ろ、神さまの民は、神さまのこ  
かみ たみ かみ  
き  
とばなど聞かないで、  
す せいかつ  
好きかってに生活し  
ていました。





おう みぶん ひと  
王さまから、身分のひくい人た  
ひと  
ちまで、ほとんどの人たちが、  
かみ れいはい  
うその神さまを礼拝していた  
かみ  
のです。しかも、神さまがい  
せい きゆうでん  
らっしゃる聖なる宮殿でね。



エレミヤが、まだわか  
もの  
者だったころ、  
かみ  
神さまはこの  
はな  
ように話さ  
れました。



「エレミヤよ、  
わたしは、  
おまえのことを  
う まえ  
生まれる前から  
し  
知っているんだよ。」



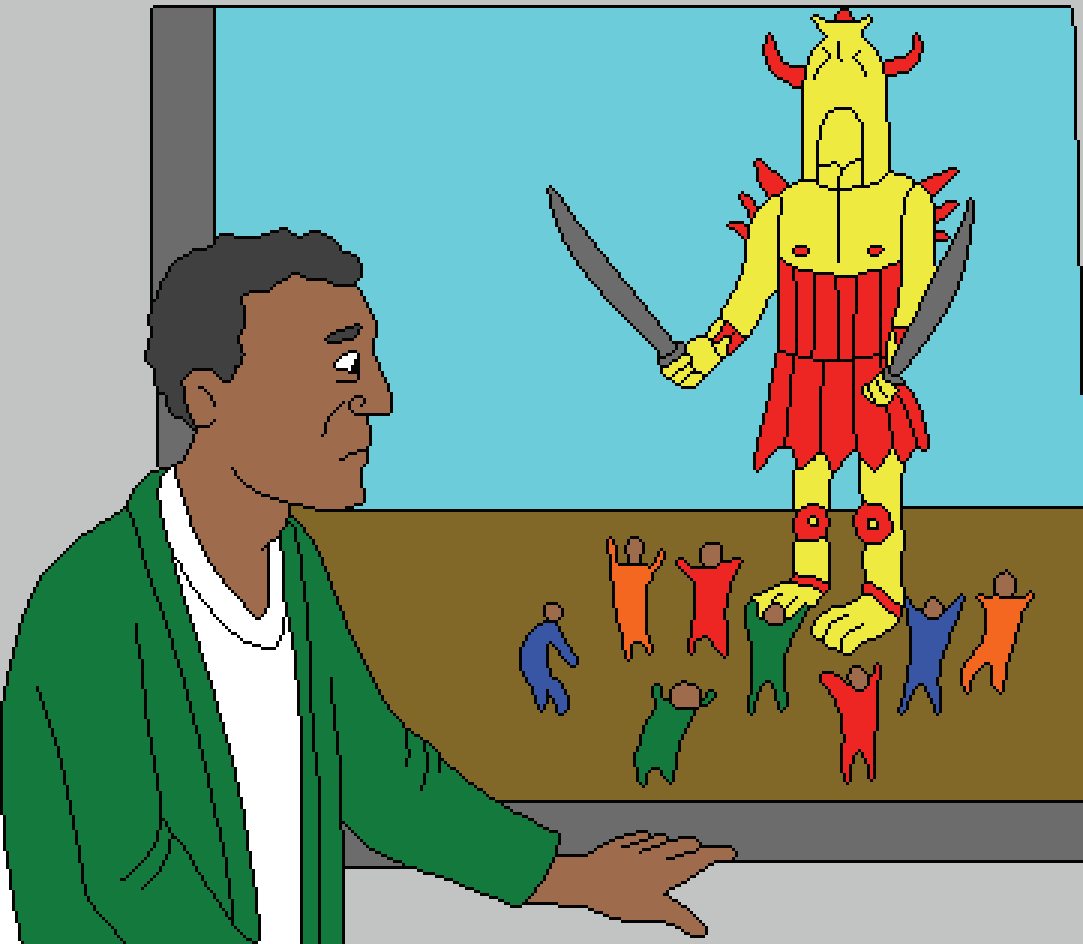
い  
そして、また言われました。  
「そのときから、わたし  
はおまえのために、  
ちゃんと計画を  
たてているんだ。」

わたしのことを、  
ひとびと っ  
人々に告げるよ  
うにね。」





かみ こえ き  
エレミヤは、神さまからの声を聞いてびっくり！とて  
もこわかったようです。「ああ、主なる神さま！」エ  
レミヤは、叫びました。「わたしには、人に話すこと  
さけ ひと はな  
なんかできません。



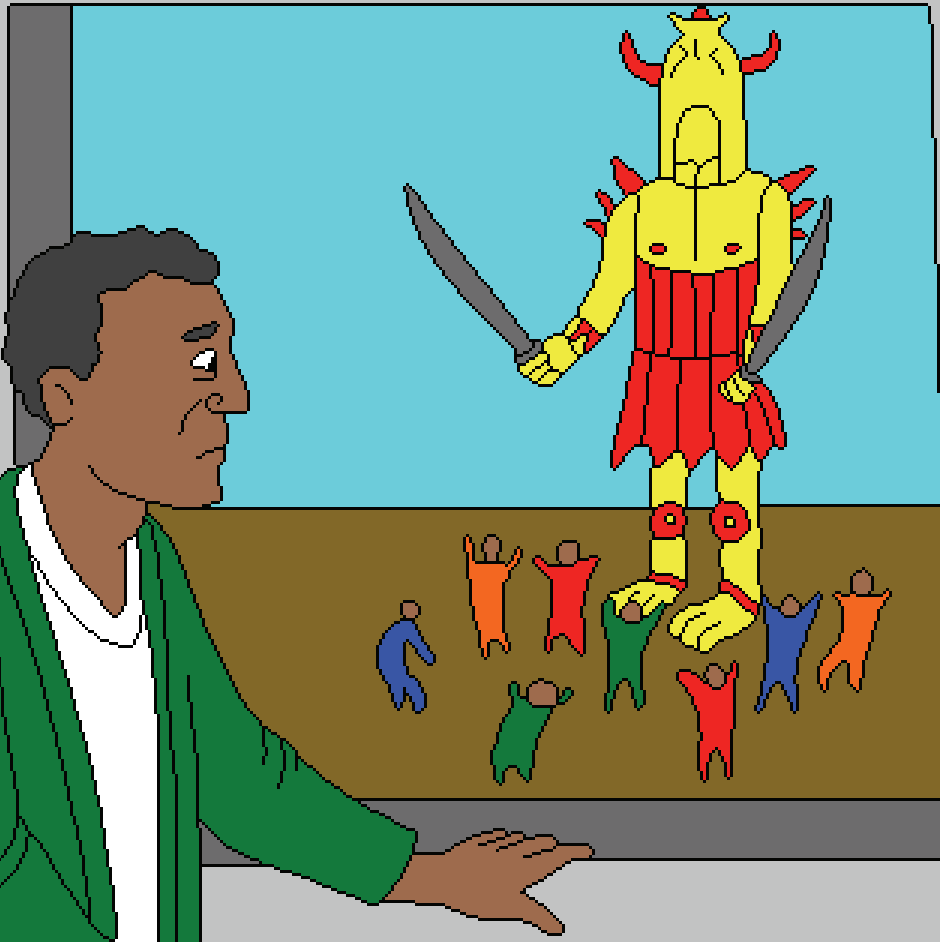
かみ  
神さま、わたしはまだ  
こ  
子どもなのです。」  
でも、じつは、  
こ  
エレミヤはもう子ども  
もではありません。



そのとき、もうすでに20さいでしたか　らね。

それでもエレミヤは、神さまのことを人々に話すなん  
てとん　でもないと思いました。どうしてって、

かれのまわりの人々  
は、ほんとうに悪い  
人たちで、ひどい  
ことばかりしてい  
るのですから。



「エレミヤ、おそれるな！」神さまは、  
きっぱりとこう言われました。

エレミヤよ、

「さあ、  
わたし  
が行きな  
さいとい  
うところは、  
どこでも行くのだ！

わたしが、話しなさいというこ  
とは、なんでも言うのだ！



わたしが、いつもいっしょにいるの  
だから。わたしが、おまえをつかわ  
そう。」あれっ、

かみ  
それから神さ  
まは、

エレミヤに  
なに  
何かとくべ  
つなことをなさ  
いましたよ。そう、

かみ くち  
神さまはエレミヤの口びるに、  
そっとふれられたのです。



かみ ちから き ちえ あた  
神さまは、エレミヤに力、ゆう気、そして知恵を与え  
られました。すると、どうでしょう。エレミヤはたく  
さんひとの人のまえで、おお大きな声で話しはじめたではあり  
ませんか。



かみ あい たす  
神さまが、愛していらっしやること、そして助けたい  
おも おも だ  
を思っ<sup>おも</sup>ていらっしやることを みんなに思い出しても

はな  
らおうとして、いっしょうけんめい話しました。でも、

だあれもエ

はな  
レミヤの話しな

き  
んか 聞こうと

おう  
しません。王さ  
までさえもね。



かみ

さいし

い

神さまにつかえる祭司でさえ、おこってこう言いました。「エレミヤ、もうやめなさい、

かみ

はな

神さまのことを話すのは。」



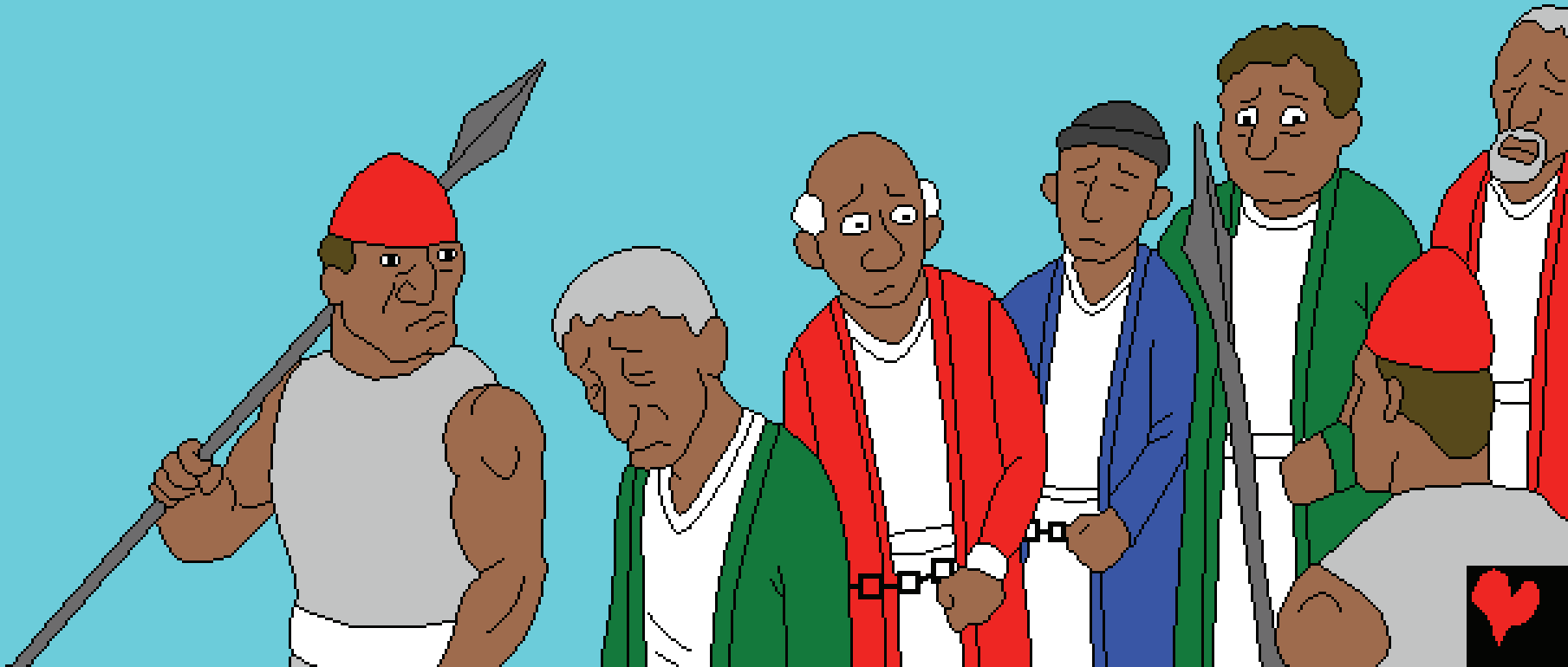
また、に<sup>しゃ</sup>せのよげん者たちも言<sup>い</sup>いました。

「エレミヤの言<sup>い</sup>っていることは、  
うそばかり。」

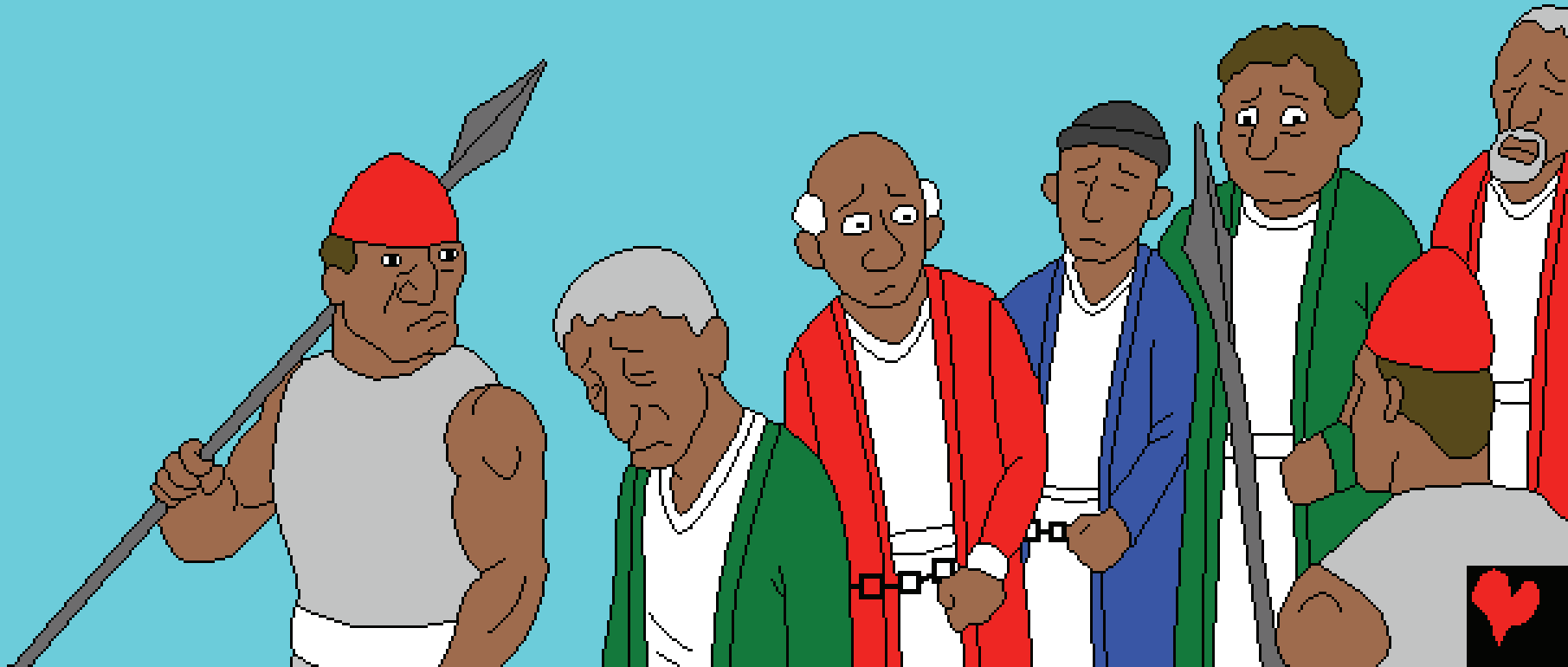




ねん  
エレミヤは、100年ぐらいまえにあつたで  
ひとびと おも だ  
きごとを、人々に思い出させようとなりましたよ。  
きた おうこく かみ  
それは、イスラエルの北の王国が、「神さまなんか、  
す  
いらぬよ。」と捨ててしまったときのことです。



そのとき、かれらのてきアッシリア軍の人々が、  
イスラエルの王国に攻めて来て、そこに住んでいた  
人々はみんな、とおいとおい地に追いやられてしまっ  
たのです。



みなみ おうこく

今また、イスラエルの南の王国、



ひとびと

ユダの人々が

かみ

「神さまなんか、いらないよ。」

い す

と言って捨ててしまった

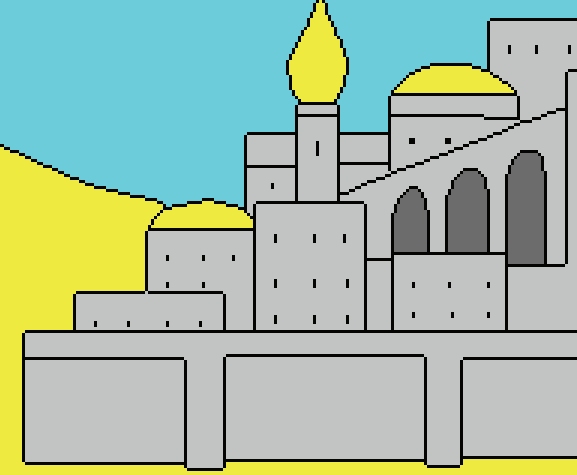
ぐん

のです。てきの軍た  
いが、もうすでにこち

む き

らに向かって来ている  
ではありませんか。





かみ かみ たみ  
神さまは、神さまの民が、

ほか たみ  
他の民にやっつけられ、

ち お  
とおいとおい地に追  
だ

い出されてしまっても

おも  
よいと思っていらっしゃ  
るのでしょうか。



ひとびと　　こころ　　ぞう　　しん  
人々は、心からぐう像を信じていました。みなさん、

ぞう　　ぐん　　ひとびと　　たす  
ぐう像は、てきの軍たいから人々を、助ける

おも  
ことができると思いますか。いいえ！

けっ  
決してできません。



かみ たす  
神さまだけが、助けることができるので

すね。でも、ぞう しん ぐう像を信じる人々は、ひとびと

かみ はな  
神さまのことを話すエレミヤに、  
すっかりはらをたてました。



じつはね、みんなは「エレミヤをころしてしまおう！」

けいかく

って、計画していたのですよ。エレミヤは、  
だいじょうぶでしょうか？もちろんです。

かみ

まも

神さまが、しもべエレミヤをしっかりと守っ  
てくださっていますからね。



かみ

とうとう神さまは、エレミヤがたいへんショックをう

い

けるようなことを、言われました。「エレミヤ、

ひとびと

もうイスラエルの人々のために、

いの

祈らなくてよい。かれらが、

たす

どうか助けてくださいと、

な

わたしに泣いてたのん

だとしても、いまの

き

ところ聞くつも

りはない。」





そこでエレミヤは、  
おう し  
王さまに知らせました。

くに  
「あなたの国は、バビ  
ぐん  
ロンの軍とのたたかいに、  
ま  
負けてしまうだろう。」

き おう  
とね。それを聞いた王さま、  
おこ  
すっかり怒りました。



「エレミヤを、  
すぐろうやに、  
ぶちこんでしまえ！」でも、  
なか  
ろうやの中でもエレミヤは、  
かみ  
みんなに神さまのことを  
はな かみ ころ  
話しつづけ、神さまを心  
しん  
から信じつづけました。



で  
ろうやから出たあと、  
エレミヤは、  
おう　ひとびと  
また王さまや人々に  
かみ　はな  
神さまのお話し  
をしました。



「みんな、  
かみ  
神さまのもとに  
もどるんだ！」



こころ しん  
心から信じるんだ！」

おこ おう  
って。怒った王さま、  
こんどはエレミヤを、

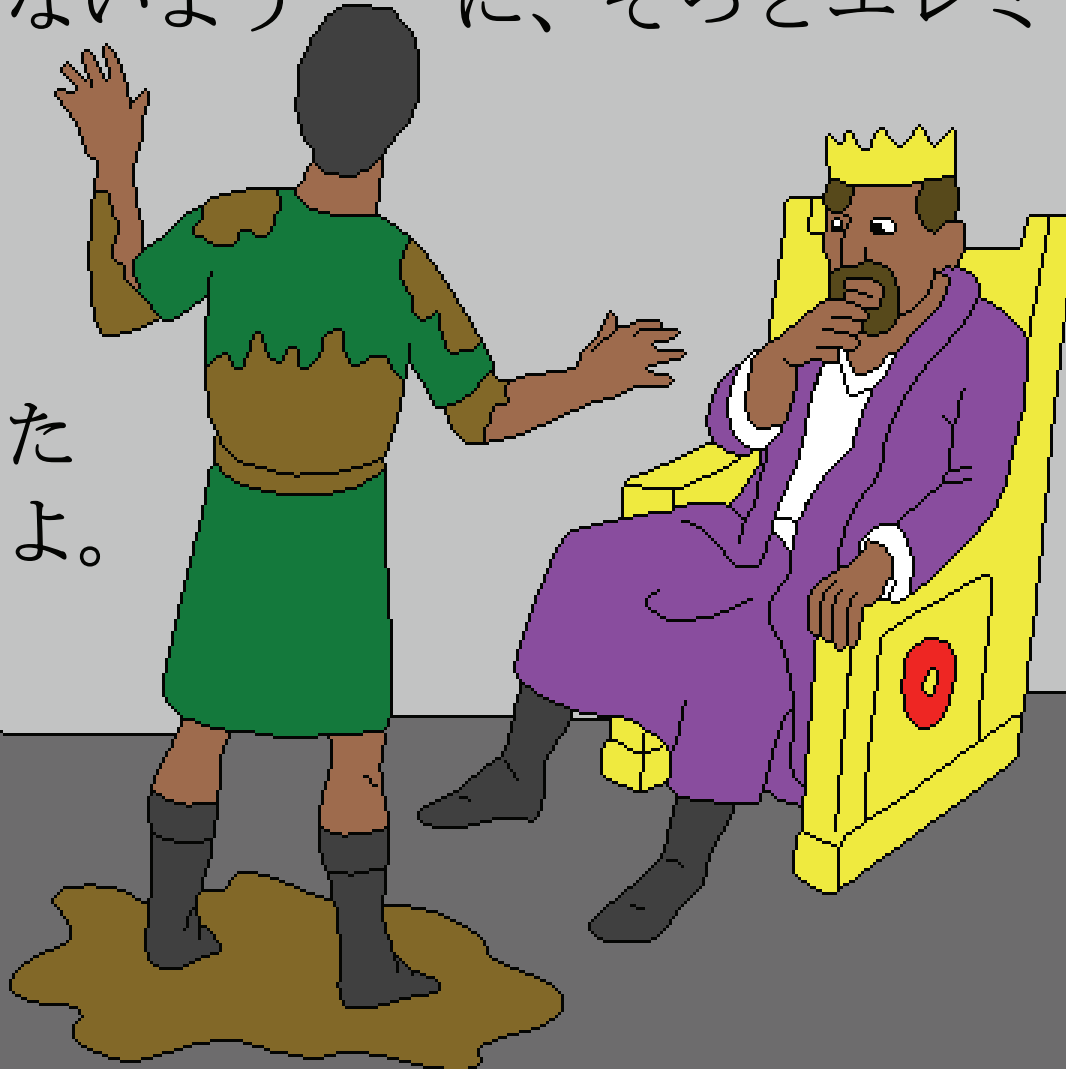
ふか  
どろだらけの深い  
ちか ほう  
地下のろうやに放  
りこんでしま  
いました。



けれどもその後、<sup>ご</sup>神<sup>かみ</sup>さまは、<sup>おう</sup>王<sup>こころ</sup>さまの<sup>か</sup>心<sup>か</sup>を変えられた

のです。<sup>かみ</sup>神<sup>しん</sup>さまを信じるようになった<sup>おう</sup>王<sup>おう</sup>さまは、みんなにわからないように、そっとエレミヤをろうや

<sup>すく</sup>から<sup>だ</sup>救い出  
しました。  
そして、  
エレミヤにた  
ずねましたよ。

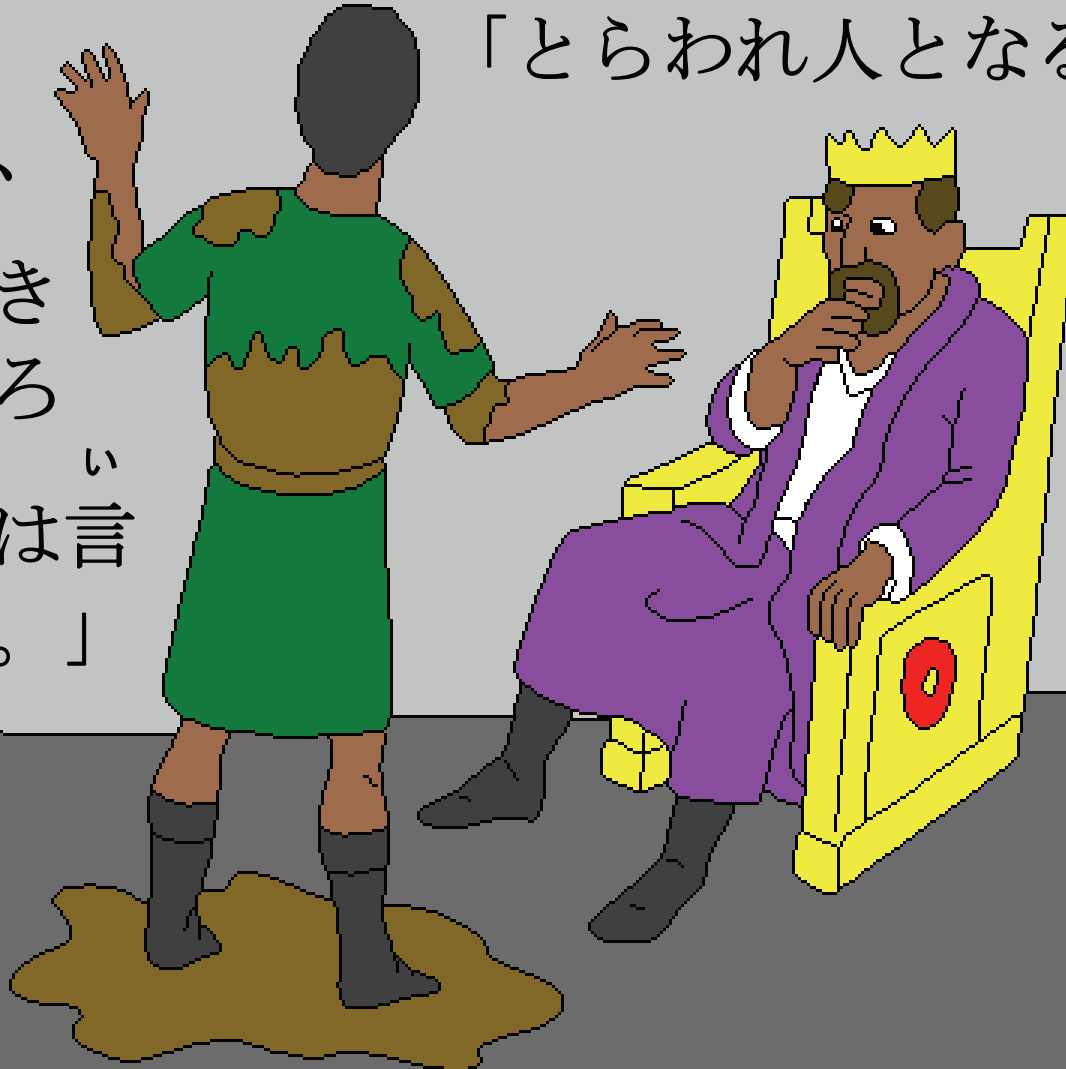


かみ おう なに い  
「神さまは、王であるわたしに、何をするように言わ

れているのか。」エレミヤの答えはこうでした。  
こた  
ひと

「とらわれ人となるのだ。」

そうすれば、  
い  
あなたは生きて  
てゆけるだろ  
かみ い  
うと神さまは言  
われている。」



ぐん  
バビロンの軍たいは、エルサレ  
ち  
ムとユダのほとんどの地を、  
じぶん もの  
自分たちの物としました。  
かれらは、かべや  
もの  
たて物すべて  
をこわし、

なに や  
何もかも焼きつくし  
てしまったのです。



かみ い  
神さまは、言われました。

「わたしの民は、70年のあいだ、  
たみ ねん  
びと

とらわれ人となるだろう。

そしてその後、  
ご  
わたしは、

かれらをやくそく  
ち  
の地へつれもどす  
ことにしよう。」





ひと  
なみだの人、エレミヤ

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しょ  
エレミヤ書

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに  
かみ かみ  
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを  
おも  
しってほしいと、思っています。

かみ わたし  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい  
かみ つみ つみ  
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の  
し かみ あい  
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい  
ひとり こ よ おく  
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って  
つみ じゅうじかじょう な  
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ  
てんごく  
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい  
しん  
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる  
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください  
いま ところ き なか  
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に  
す い  
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生  
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ  
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな  
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ  
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして  
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし  
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい  
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし  
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

